

## 牧瀬英喜 写真展

### ベトナムスケッチ「黄色の街」ホイアン

会期：2012年5月2日(水)～5月6日(日)

会場：福岡市美術館 福岡市中央区大濠公園1-6  
9:30～17:30 TEL 092-714-6051

後援：在福岡ベトナム社会主義共和国総領事館  
(財)福岡市文化芸術振興財団

協賛：(株)ウインバード(EPSON公式サンプル制作会社)

中世の姿そのまま残す世界遺産の街ホイアン  
異国情緒豊かな街並と、豊かな水と緑の恵み  
その中で脈々と息づく人々、そんな出会いを  
温かく写しとめた撮り下ろし50数点を発表

前回のパリモノクロ作品、パステルフォト作品に続いて  
今回はパステルトーンのカラージュ作品でベトナム中部を表現  
新しいベトナムの発見と写真家牧瀬英喜の表現世界を  
是非ご堪能ください

#### 「郷愁の街」

初めて訪れる土地なのに何故か、何処か、妙に懐かしい  
そんな感慨を覚える、不思議な雰囲気を持つ街 これは  
日本人が何かと引き換えに失ってきた、忘れてしまった  
実は大事なものをこの地で思い出すから、なのだろうか  
ファインダー越しに幼少の自分に出会い、遊んだり、け  
んかしたりした日々・・・  
そんな情景を見ているような錯覚の世界、懐かしい世界

#### 「時のリズム」

ゆったりとしたリズムで時が流れ、一日一日が大河の一滴  
かの様な ここホイアンで感じたのが、本当に我々日本人  
は長生きしているのだろうか？ そんな感慨が沸々とわいて  
きた たとえ時間的に長く生きていたとしても、時の流れ  
自体が速過ぎては・・・時のリズムが倍だとすると、彼等  
の50は我々では100歳？ 体力も続かない・・・

#### 「優雅な街」

だから、ゆったりと一日一日を実感している、楽しんでる  
朝のひと時、夕照のひと時、お茶のひと時、散歩のひと時  
けっして物理的裕福さではないだろうけど、豊かなひと時  
そんな優雅な人生を過ごしているのではないだろうか？

Hideki Makise Photo Exhibition

## Vietnam Sketch

Fukuoka Art Museum  
2012.5.2~5.6 9:30-17:30



ベトナムスケッチ「黄色の街」ホイアン  
福岡市美術館 2012年5月2日～6日  
<http://www.photoartplan.com> 検索 牧瀬英喜

# Vietnam Sketch ~ Asian Wind

アジアの風につつまれて ベトナムスケッチ  
ちょっと違った私なりの

## 「風の十字路に生まれた地」 ＝ベトナム・ホイアン＝

アジアには幾筋もの季節風が吹通る  
東の大海から吹く、温暖で優しい風  
北の大地から吹く、冷たく厳しい風  
西の熱帯から吹く、熱く乾燥した風

これらが複雑に混じり合いながら  
アジアの地のすみずみに吹き渡る  
この季節風が混じり合う通り道に  
あるのがインドシナ・ベトナム  
「風の十字路」に生まれた国

風の道に沿って人は、文化は移動し  
風の十字路は交易の地となり賑わう  
また、北方からは中国の侵略と支配  
更には、フランス植民地時代の影響  
様々な文化が集まり影響されながら  
しかしそんなものを呑み込みながら  
消化させ定着させてきたベトナム



## 「海のシルクロード」

そして、風の十字路の中心に在った街は  
南シナ海に面し湾曲した形を成すインド  
シナ半島のほぼ中心部に位置し  
季節風はこの地に向かって吹きつける  
更に海流は海に突き出たこの地にぶつかり  
風の流れと海流がたよりの中世の航海では  
おのずと船はこの地に導かれることとなる

西洋と東洋を結ぶ「海のシルクロード」  
その拠点はこの地に誕生した  
かつてベトナム最大の国際貿易港であり  
朱印船貿易時代には日本人街があった程  
この港町こそが まさしく「ホイアン」

## 『黄色の街』

### 独特な雰囲気 of 別世界

近世に入って、交易船の大型化と  
河底への土砂の堆積が原因となり  
河口を利用したホイアンの港には  
次第に大型船は入港できなくなる  
海の玄関口国際港としての役割を  
海に面するダナンに遂に明け渡す

以後、ホイアンは歴史から取り残される  
皮肉にもこの事がこの街にとって幸いし  
その後の戦禍から逃れる事にもつながる

中世の街並はその時代そのままに現代に残る  
チャンフー通りやグエンタイホック通りなど  
その道幅、そしてその道沿いにつらなる建物  
どれをとっても昔のまま、中世の姿そのまま  
違うのは建物の中が土産雑貨品店になったり  
刺繍民芸品店になったり、博物館になったり

その外観風情はかつて国際貿易港だけあって  
異国情緒を醸し、『黄色』が印象的に連なる  
そして、どこか不思議と懐かしさを感じる  
この街だけが醸し出す独特な雰囲気 of 別世界  
そんな街「ホイアン」 念願の街『ホイアン』

## Profile

牧瀬英喜 1954年生 福岡在住 1981年転勤地にて京都風景に触発され独学で写真始める 歴史の中で遅く「脈々と息づく街と人」をテーマに、本業の傍ら海外、地元など人の営み、街風景を撮影、個展発表を中心に活動 モノクロとパステルトーンの独自の表現世界を追求中

### 【My Style】 モノクロフォト と パステルフォト

永年写真を取組んできて約30年、17年程前にはデジタルと出会いその可能性を直感し、写真の新たな表現なども模索してきました。そんな中、巷では色彩の傾向として極彩色が強くなってきており、時には到底現実にはあり得ないような色も見受けられる程になりました。この傾向はデジタルカメラ全盛になってより強くなり、またプリンターメーカーの開発方向性も同様に感じられます。やはり自分が表現したいものを求めて、その手法や機材の選択などが必要なのでしょう。

いずれにしろ、この傾向はどれも私の好みではなく、淡いパステル色調か、色をイメージネーションするモノクロームの世界が私にはぴったりくるようで、モノクロームフォトとパステルフォトという手法にたどり着きました。

### 【個展歴】

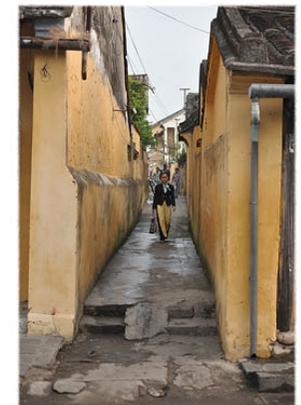
- 2007年 7月14日～ 9月15日 九州日仏学館 「巴里散策」モノクロフォト展
- 2007年10月23日～10月28日 NHKギャラリー 「巴里の空の下」モノクロフォト展
- 2008年 3月14日～ 3月31日 九州日仏学館 日仏交流150周年記念祭「変わらぬ永遠のパリ」
- 2008年 5月 5日～ 5月11日 アクロス福岡 「巴里の空の下」モノクロフォト展
- 2008年 9月30日～10月 5日 NHKギャラリー 「パステルフォト展」
- 2008年10月11日～10月19日 赤煉瓦文化館 誕生百年歳「街を彩る赤煉瓦」パステルフォト展
- 2008年11月 3日～11月30日 福岡国際ホール 「パステルフォト展」
- 2010年 4月16日～ 4月25日 福岡天神LOFT 福岡アーティスト展「貴方の巴里」モノクロフォト

Homepage <http://www.photoartplan.com>

検索 牧瀬英喜

Blog <http://myfilter.exblog.jp>

E-Mail [makise@photoartplan.com](mailto:makise@photoartplan.com)





4/1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

世界遺産の街 =ベトナム・ホイアン=  
「豊かな水の恵み」

中世の姿をそのまま残す世界遺産の街「ホイアン」  
かつてベトナム最大の貿易港であり、「海のシルクロード」の拠点  
今尚その豊かな水に恵まれ、脈々と引き継がれる漁法  
「大四手網漁」はトゥボン川の美しい景観を見事に形成していた

Vietnam Sketch ~ Asian Wind

Fukuoka Art Museum 2012.5.2~6



Photo Exhibition 9:30-17:30

5/1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

世界遺産の街 =ベトナム・ホイアン=  
「黄色の街」

中世の街並をそのままに現代に残すホイアン  
その外観風情はかつての国際貿易港としての彩りと  
異国情緒を醸し、「黄色」の建物が印象的に連らなる  
そして、どこか不思議と懐かしく感じられる  
この街だけが醸し出す独特な雰囲気の世界

# Vietnam Sketch

Fukuoka Art Museum 2012.5.2~6



世界遺産の街  
= ベトナム・ホイアン =  
「脈々と息づく人々」

豊かな水と緑に恵まれた街、その中で脈々と息づく人々  
その姿に大いに魅了された。わがままにも色々注文を出し  
場所も移動してもらったりしての、撮影というより身振り  
手振りの「触れ合い」だったような、そんな思い出です。



世界遺産の街  
= ベトナム・ホイアン =

「郷愁の街」

中世の姿そのまま残す特異な街  
黄色の建物が連なる街並風景  
その黄壁が夕陽に照らされる頃  
家路につく人の影は長〜く延び  
店先ではたわい無い話で座込む

こんな情景昔あったよなあと  
懐かしく感じ胸詰まるひと時  
この街だけが醸し出すどこか  
ほっとする、独特な別世界  
そんな郷愁の街「ホイアン」



- 九州日仏学館 *La Ballade de Paris*  
2007.7.14(土) - 9.15(土) 10:00-18:00
- NHKギャラリー *Sous Le Ciel de Paris*  
2007.10.23(火) - 10.28(日) 10:00-18:00

【個展歴】

- 2007年 7月14日～ 9月15日 九州日仏学館 「巴里散策」モノクロフォト展
- 2007年10月23日～10月28日 NHKギャラリー 「巴里の空の下」モノクロフォト展
- 2008年 3月14日～ 3月31日 九州日仏学館 日仏交流150周年記念祭「変わらぬ永遠のパリ」
- 2008年 5月 5日～ 5月11日 アクロス福岡 「巴里の空の下」モノクロフォト展
- 2008年 9月30日～10月 5日 NHKギャラリー 「バステルフोट展」
- 2008年10月11日～10月19日 赤煉瓦文化館 誕生百年歳「街を彩る赤煉瓦」バステルフोट展
- 2008年11月 3日～11月30日 福岡国際ホール 「バステルフोट展」
- 2010年 4月16日～ 4月25日 福岡天神LOFT 福岡アーティスト展「貴方の巴里」モノクロフォト



# HIDEKI MAKISE

牧瀬英喜 写真展 exhibition (オリジナルプリント)

4.16fri — 4.25sun 7階 グラフィックス

作家来場サイン会 4.24sat・4.25sun p.m.2:00～4:00

※会期中にお買上げいただいた作品に作家がサインをお入れいたします。

Profile

福岡在住、Photographer。  
福岡に拠点を置き、本業の傍ら海外、地元などの営み、街風景、自然風景を撮影。永年写真を取り組む約30年。近頃特に撮影対象とする傾向の中、色をイメージーションするモノクロームの世界と、淡いパステル色調を追求。モノクロームフォトと、バステルフोटという手法にたどりつき作品制作に取り組む。

開展

- 2007年7月14日～9月15日 九州日仏学館「巴里散策」モノクロフォト展
- 2007年10月23日～10月28日 NHKギャラリー「巴里の空の下」モノクロフォト展
- 2008年3月14日～3月31日 九州日仏学館 日仏交流150周年記念祭出展「変わらぬ永遠のパリ」モノクロフォト展
- 2008年5月5日～5月11日 アクロス福岡「巴里の空の下」モノクロフォト展
- 2008年9月30日～10月5日 NHKギャラリー「バステルフोट展」
- 2008年10月11日～10月19日 赤煉瓦文化館 誕生百年歳「街を彩る赤煉瓦」バステルフोट展
- 2008年11月3日～11月30日 福岡国際ホール「バステルフोट展」
- 2009年2月11日～2月15日 赤煉瓦文化館 誕生百年歳「静かな巴里」モノクロフォト展

Homepage <http://photoartplan.com>  
Blog <http://myfilter.exblog.jp>

天神ロフト

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通4-9-25 天神ロフト 7F グラフィックス  
お問合せ:092(713)6220 (直通)

営業時間 午前10:00～午後8:00



## La balade de Paris, par Hideki Makise

Au fil des clichés en noir et blanc de Hideki Makise, venez faire votre propre ballade parisienne : pendant plusieurs mois, l'Institut orne les murs de la médiathèque et du 4ème étage de ces photographies. Paris à votre porte !

- Du 14 juillet au 15 septembre
- Médiathèque et 4<sup>ème</sup> étage
- Entrée libre

Né en 1954, Hideki Makise vit et travaille en tant que photographe amateur à Fukuoka. Lors d'un séjour en France, il a pris de nombreuses photos de Paris, de ses quartiers, de ses monuments, de ses habitants... Quel lieu plus naturel que l'Institut pour exposer une sélection de ces clichés ? Au fil des photographies, venez donc (re)découvrir la capitale française, « Paris éternelle » sous le regard du photographe : la Seine et ses ponts, les bouquinistes des quais, scènes de vies et monuments célèbres... Une exposition plus importante, intitulée Sous le ciel de Paris, sera organisée à la galerie de NHK à Fukuoka du 23 au 28 octobre prochains.

九州日仏学館   
INSTITUT FRANCO-JAPONAIS DU KYUSHU  
Institut franco-japonais du Kyushu



淡いパステル色調と、細いラインによる細密描写

## 牧瀬 英喜 パステルフोट展

高彩度の色ばかりが氾濫する中、色をイメージーションするモノクロームの世界や淡いパステル色調に強く惹かれる

2008年11月3日(月)～11月30日(日)  
AM10:00～PM7:00 (最終日はPM4:00迄)

福岡国際ホール ロビー (西日本新聞会館16階)  
《主催》福岡国際ホール《後援》西日本新聞社、福岡文化連盟



## 100th ANNIVERSARY 2009

福岡市赤煉瓦文化館誕生百年祭「街を彩る赤煉瓦」展 出展作品  
主催:市民の会(会長:長谷川法世) 共催:福岡市、福岡市教育委員会、日本生命保険、We Love 天神協議会他

## 赤レンガ会の 福岡市赤煉瓦文化館誕生百年祭

100th ANNIVERSARY 2009.2.1 福岡市赤煉瓦文化館は今年2月で誕生100歳を迎えました。

私たち赤レンガ会は、赤煉瓦文化館で出会い、赤煉瓦文化館をこよなく愛し、様々な展示、文化活動を行ってまいりました。

華やかな都会のオアシス的空間であり、福岡市の大切な財産であるこの建物の価値、そして誕生百歳を迎える事をより多くの方に広く知って頂きたいと、2年前の2007年3月に「百周年記念事業」の準備活動のスタートとして、各団体一同に集まり「合同作品展」を開催しました。



2007年3月23日・25日「百周年記念事業準備活動、赤レンガ会合同作品展」の会場風景と、活動メンバーと赤煉瓦館館長との集合写真

この事をきっかけに私たちの活動の輪は広がり、多くの方の賛同を得られ、また多くの同じ思いの方々とも出会い、長谷川法世氏を会長とし「福岡市赤煉瓦文化館誕生百年市民の会」なるもの発足に至りました。1月24日は田中市長の方々と出陣の上「記念式典、シンポジウムそして「祝賀パレード」」と盛大に執り行う事ができました。多くの皆様方の熱い思いとご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。



館前の観望です。ペールをかけた純白のシルエットが寄り添って行く観望です。建物そのものにリズミカルな光をかけたまま、そんな一瞬から始まった企画。心躍る瞬間でした。そして近年賑わいに見當、真っ白い雪、真夜中の、静かな、静かなお祝い、百年に一度の日に、福岡にはない「雪」を天降し行われました。

そしてこれに引き続き、いよいよ本日私たち赤レンガ会の各メンバーにより、熱い思いを繋いでいくそれぞれの「百歳作品展」のメドレーを開催します。

今を生きる人たちに活用され、愛されて初めて「生きている百歳・赤煉瓦館」だと確信し、これからより多くの方々に活用され続け「生き続ける赤煉瓦館」である事を切に願ひ、そのきっかけになれたらと取り組んで参ります。

- 2月11日～2月15日
  - ちとせスペース・タティング工房展示会 千歳喜巴子
  - TAKA 空間映像展 前田芳隆
  - 牧瀬英喜 モノクロフォト展「静かな巴里」
- 2月19日～2月22日
  - Flower Studio N CREATION 作品展 花・葵・創
  - 2月27日～3月1日
    - 古賀あそび・あそびが 池田道子・前田恵子